

現役ライター直伝
読みにくい文章から
完全に卒業する
19の方法

～ブログアフィリエイター向け～



著：ねこヨーグルト

■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。

本冊子の著作権は、発行者にあります。

なお、本冊子のマンガは全て「コミ Po!®」を使い作成しています。

マンガの素材の著作権につきましては、「コミ Po! 製作委員会（株式会社 ウェブテクノロジー・コム内）」にあります。

本冊子のマンガはフィクションです。登場する人物などは全て架空の物であり、実在の物とは一切関係ありません。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子入手した個人・法人（以下、甲と称す）と発行者（以下、乙と称す）との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的：

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項：

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを 第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条 損害賠償：

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第 4 条 契約の解除：

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第 5 条 責任の範囲：

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

目次

目次	3
1. はじめに	5
1-1. 自己紹介	5
1-2. このレポートを読むべき人	7
1-3. なぜ、アフィリエイトに文章力が必要？	8
1-4. 伝わる文章とは？	11
1-5. どうすれば伝わる文章を書けるのか？	12
1-6. 今、あなたがすべきこと	13
1-7. 本編の構成	14
2. 基本編：読みにくい文章から卒業する！	15
2-1. 文字の大きさの基本	15
2-2. 文字色の基本	16
2-3. 改行の基本	18
2-4. 1 記事 1 テーマの基本	19
2-5. 文字数の基本	21
2-6. 文章で最初を書くことの基本	22
2-7. 書き出しの基本	24
2-8. 箇条書きの基本	25
2-9. 見出しの基本	26
2-10. 例え話の基本	28
2-11. 専門用語(カタカナ語)の基本	29
2-12. これそれあれ…どれ？ の基本	30
2-13. 二重否定の基本	31
2-14. 強調の基本	32
2-15. 「の」の基本	33
2-16. 「が」の基本	34
2-17. 「ので」の基本	35
2-18. 漢字の基本	36

2-19. 表現の基本.....	37
3.日本語編：恥ずかしい日本語から卒業する！	38
3-1. ねこヨーグルトの恥ずかしい話.....	38
3-2. 「一番最初」.....	39
3-3. 「すごい」と「すごく」	40
3-4. 「～したいと思う」	41
3-5. 「～のほう」	42
3-6. 「～になります」	43
3-7. 「～させて頂く」	44
3-8. 「全然＋肯定文」	45
4. おわりに	46

各章をクリックするとジャンプします。

1. はじめに

1-1. 自己紹介

こんにちは、ねこヨーグルトです。



この度は無料レポートをダウンロードしていただき、
ありがとうございます。

私は趣味(?)でフリーライターをしまして、
ビジネス関係の記事を某インターネットメディアに連載中です。

メディアでは堅苦しい口調で記事を書く一方、
自分のアフィリエイトブログでは、のんびりと記事を書いております。

そんなのんびり記事に、連日「**分かりやすい**」の声が多く届きます。

- ・ねこヨーグルトさんの解説がとても分かりやすいです ^^
有益な情報をありがとうございました！
- ・設置方法もわかりやすいですし
初心者さん必見記事ですね ^^
結構利用できそうなツールですね！
- ・記事が多彩で読んでいて楽しいですね ^^
- ・こんなに丁寧に書いてるとこ見つけられなかったんですよ～。

なんて嬉しいコメントでしょうか！

こんな多くの方に褒められたら、
ライターとは言え喜んでしまいます。
もうニヤニヤです(笑)

いつもコメントをくださる方々、ありがとうございます ^^

そのブログがこちらです。
ブログアフィリエイトで稼ぐ方法について解説しています。
<http://nekoyogurt.com/>

私の実績としましては、
2011 年の 4 月から物販アフィリエイトを始めました。
その 4 ヶ月後、ひと月に約 13 万円の報酬を得ています。

実績紹介

13 万円の報酬を得られたときは、
本当に嬉しかったです。
嬉しすぎて、眼鏡から涙が出そうになったくらいです(笑)

そんな大喜びの私の裏には、
もちろん「**ライターの文章力**」がありました。

私がライターになった理由は
「なんとなく流れで」だったのですが、
今では感謝しています。

元プログラマーの理系人間だった私が
数年間のライター生活で培った文章力。

それを今回、あなたに伝授いたします。

1-2. このレポートを読むべき人

さて、4 作目となる今回のレポートについて説明しますね。

このレポートは、

「**伝わる文章を書きたいブログアフィリエイト**」向けに
作成しました。

具体的には、以下のアフィリエイトの方が対象です。

- ・記事を書いても反応がない
- ・商品（物販、情報商材）の購入率が悪い
- ・自分の文章に自信がない

でも、なぜブログアフィリエイトに
「伝わる文章」が必要なのでしょう。

1-3. なぜ、アフィリエイトに文章力が必要？

扱う商品が「物販」にしても「情報商材」にしても、
ある程度の文章力は必要です。

読者に思いを伝える手段が「**文章**」だからです。

伝わる文章を書けば、
読者は記事に満足してくれたり、
あなたのファンになってくれたりします。

すると、**商品の購入率が上がります。**
そして、**報酬額も上がります。**
結果、**あなたの口角筋も上がります**(笑)

文章力があれば、一般的に「**驚異的！**」と言われる
「商品のコンバージョン率 **10%**」を超えることも可能です。

※コンバージョン率：商品がクリックされた回数のうち、
注文された割合

注文	
注文済み商品	52
クリック数	501
あなたのコンバージョン	10.38%
レポート全体を表示	

↑私の「アマゾン アソシエイト」での実績です。(2011 年 6 月)
この数値がすごいと気付いたのは、
アフィリエイトに詳しくなってからでした。

しかし！

「読みにくい」

「分かりにくい」

「伝わらない」

…そんな文章を書いていたら。

読者はファンになるどころか、
目を伏せて、そっとブログを閉じます…。

そして、二度と来てくれないでしょう。

読者の気持ちを考えれば当然ですよ。

**読みにくい文章は、
読者にとってストレスにしかありません。**

目が痛くなるデザインのブログや
使いにくいブログと同じように。

読みにくい文章ばかりのブログは嫌われます。

…ならば。

読みやすく、分かりやすく、伝わる文章を書けばいいだけです！

読者も！

ファンも！

もちろん報酬も増やすために！

ブログアフィリエイトにとって
「伝わる文章」は必要です。

1-4. 伝わる文章とは？

「伝わる文章」とは、
読者が「分かりやすい」と感じる文章のことです。

逆に「伝わらない文章」とは、
読んでいて違和感を覚えたり、
何度も読み直さないと理解できなかったりする文章です。

あなたが自分の文章に違和感を覚えたら、
それはきっと、改善できます。

先ほどの「コンバージョン率 10%超え」が示すように、
「伝わる文章」を書けると
読者は購入などの行動に移りやすいです。

読者の脳にスーッと染みこむような文章を書けたら、
素敵だと思いませんか？

その最初の一步をお手伝いするのがこのレポートです。

1-5. どうすれば伝わる文章を書けるのか？

このレポートにある **19 の方法**を
あなたの文章に取り入れるだけです。

どれから取り入れても大丈夫。

すべて文章の基本ですから、
取り入れるほど伝わりやすくなります。

誰でもできますし、すぐにできます。

…さあ、なんだかワクワクしてきませんか！？

そのワクワクを胸に、今すべきことは…

1-6. 今、あなたがすべきこと

本編を**実践するだけ**です。

試しに、本編を見ながら
キーボードを叩いてみてください。

**あなたの文章が変わり、
読者の反応が変わり、
やがて報酬も変わるでしょう。**

ぜひ、19 の方法すべてを吸収してください。

※このレポートにある文章術は
すべて「文章の基本」であり、
「売するための文章」ではありません。

しかし、売するための文章を書くには
文章の基本を習得する必要があります。

**基本ができていないまま、
売するための文章に飛びついていませんか？**

まずは、しっかりと
「伝わる文章」の基本をおさえてください。

1-7. 本編の構成

本編は以下の 2 編で構成しております。

- ・ 基本編
- ・ 日本語編

「基本編」では **19 の文章の基本**を、
「日本語編」では **8 つの間違えやすい日本語**について解説しました。

(「日本語編」はおまけです ^^)

前のページを引用している箇所もあるため、
「基本編」の 1 から順番に進んでいただくと読みやすいです。

※ところどころに息抜き用のマンガを置きました。
小休止にお読みください。
(このレポートはメルマガ会員限定、マンガなし版です)



それでは、本編の始まりです。

2. 基本編：読みにくい文章から卒業する！

2-1.文字の大きさの基本

文字の大きさは、**11～14 ポイントくらい**が適切です。
このレポートでは、11.5 ポイントで書いています。

「なんだ、文字の大きさか」とバカにはできません。

突然ですが、少し昔話をしましょう。

数年前、一部のブログ利用者の間で
とても小さい文字が流行りました。

正確な大きさは覚えていませんが、
それはもう読みにくかったです。

このくらいでした。

ブログの文字が、すべてこの大きさだったらいかがでしょう？

読者はストレスしか受けませんよね。

前述のとおり、**読者にストレスを与えないこと**が
ブログ運営で重要な要因のひとつです。

だからこそ、文字の大きさにも細かい気配りが大切です。

★文字の大きさは 11～14 ポイントにしましょう。

2-2. 文字色の基本

文字色は多くて 3 色までにします。

書く側は様々な色を使うと楽しいですが、
読者に大事な部分が伝わりにくくなります。

基本の黒色に加えて、**装飾する 2 色**を決めましょう。

- ・ 基本：黒色
 - ・ 装飾する色 1
 - ・ 装飾する色 2
- (・ リンク文字：青色)

装飾する色は一般的に、
赤色と好きな色(青色以外)を選ぶ場合が多いです。

背景色の白地に目立つような、濃い色がいいですね。

このレポートでは、**黒色**、**橙色**、**緑色**の 3 色を使っていますが、
これが正解ではありません。

あなた独自の**読みやすい色**を探してみてください。
(ブログの個性にもなります)

なお、リンク文字は**青色**(下線つき)にします。
パッと見てリンクと分かなければクリックされません。

報酬に響きますので、
必ずリンク文字は下線つきの**青色**にしましょう。

ちなみに、私はゲームブログを運営する関係で
中学生や高校生のブログをよく見ます。

そこで感じるのは、若さ！

私も若者に入るでしょうが、彼らには負けます。

彼らのブログの多くは絵画のように眩しく彩られています。

文字色に黒が少なく、代わりに赤、黄、
緑や青といった色が散りばめられているのです。

背景と同化してしまっていて読めない薄い文字もありました。

さらに、リンクだと思ったら
ただの青い文字ということも…。

これはいけませんね。

自分の書きたいように書くと読者に伝わらない、
いい見本になっています。

★文字色は黒色の他に 2 色までにしましょう。

2-3. 改行の基本

このレポートのように、
適切な改行を入れると読みやすくなります。

また、一行を 30 文字くらいで改行すると
視線が左右に大きく動かないので、楽に読めます。

ブログの記事は小説ではありませんから、
「ちょっとスカスカかな？」と思うくらい
間隔を空けておきましょう。

悪い例として、1 ページ前の文章から改行を取ってみます。

ちなみに、私はゲームブログを運営する関係で中学生や高校生のブログをよく見ます。そこで感じるのは、若さ！私も若者に入りますが、彼らには負けます。彼らのブログの多くは絵画のように眩しく彩られています。文字色に黒が少なく、代わりに赤、黄、緑や青といった色が散りばめられているのです。背景と同化してしまっ読めない薄い文字もありました。さらに、リンクだと思ったらただの青い文字ということも…。これはいけませんね。自分の書きたいように書くと読者に伝わらない、いい見本になっています。少し寂しいですが、文字色の数は控えめにしましょう。

読めることは読めますが、
この調子で 1 ページにギッシリ書かれていれば
読む気は失せますよね。

適度に改行すると 1 ページ前のように
読みやすい文章に変身します。

★改行を入れましょう。

2-4.1 記事 1 テーマの基本

1つの記事で書くことは、1つのテーマに絞ります。

あれもこれもと書きたいことを書けば、
読者には何が大切なのか伝わりません。

このレポートでは、テーマを「文章の書き方」に絞っています。

もし、一緒にこんな情報が書かれていたらいかがでしょう。

- ・ Twitter の使い方
- ・ ブログの開設方法
- ・ 眼鏡男子の落とし方

おそらく、多くの人は邪魔な情報があると感じたり、
一番大事な「文章の書き方」が頭に入らなかったりするでしょう。

記事を書いている最中に違うテーマが浮かんだら、
別の記事に書くようにします。

これは、次の「2-5. 文字数の基本 (P. 20)」にも関連します。

また、記事を分けることで、こんな効果もあります。

- ・ SEO
- ・ PV 数アップ

※SEO : Google など検索したとき、
自分のブログが上位に表示されるようにする技術

※PV (ページビュー) 数 : ブログが何ページ見られたか、の単位
1 ページ見られたら 1PV、
50 ページ見られたら 50PV と数えます。

PV 数に繋がる理由は、
読者が記事のタイトルだけで
自分の欲しい情報があるか判断するためです。

ここで私の失敗談をひとつ紹介しましょう。

先日、「Twitter の登録方法」という記事で
Twitter 関連の便利なツールも紹介しました。

ところが、その記事の PV 数はすごく少なかったのです。

原因は明確で、すでに Twitter の登録方法を知っている読者に
「読む必要がない」と判断されたためでした。

当たり前ですが、
タイトルと記事の内容が同じであることも重要です。

仮に、私が「Twitter の便利ツール 5 選」という名前で
別の記事にしていたら、PV 数は確実に増えていたでしょう。

★1 つの記事では 1 つのテーマだけ書きましょう。

2-5. 文字数の基本

1 記事の文字数は、1,000 文字くらいなら
さくっと読める量です。

多くても 2,000 文字くらいが読んでいて疲れない量ですね。

文字数が多いと、読者は大事な部分を覚えられません。

楽しく記事を書いていると、
まとめきれずに長くなってしまうことがあります。

そんなときは、「次のページへ」のように
複数のページに書くと読みやすいです。

ときには、思い切って不要な部分を
削除することも必要です。

多すぎず、少なすぎず、適切な文字数を体に染み込ませましょう。

書いていれば少しずつ慣れます。

最初のうちは Word で記事を書けば、
文字数を数えてくれるので便利です。

単語数: 4177

↑ 文字数を自動で数えてくれます

★1 記事の文字数は、1,000 文字くらいが目安です。

2-6. 文章で最初に書くことの基本

文章の最初に結論を書きます。

書く側からすると

「こういう理由があって、この結論に達しました」
と書きたいですね。

ところが、結論を後回しにすると

読者は何の話か分からないまま読み進めて、結論を迎えます。

最後の最後でようやく、

「ああ、そういう話だったのね」と気付いて、
また最初から読み返すでしょう。

または、頭にぼんやりと入った状態で
帰ってしまうかもしれません。

最悪の場合、途中でページを閉じられます。

**何の話か分からないまま話が進むのは、
読者にとってストレスになります。**

試しに、このページの最初の結論を
最後に持ってきて読んでみてください。

読みながら、ぼんやりした印象を受けませんか？

なお、この本編(基本編+日本語編)の文章は
すべて結論から始まっています。
全部が例文です。

ぜひ、その点も意識して読んでみてください。

★文章の最初には結論を書きましょう。

(文章の最初と最後、
両方に結論を書くと一番いいですね)

2-7. 書き出しの基本

文章の書き出しは短文で始めます。

例えば、以下の 2 つの書き出しで
分かりやすいのはどちらでしょうか。

1. 「今回は、アフィリエイトをする上で
必ずお世話になる ASP の登録方法を紹介します。」
2. 「今回は ASP の登録方法を紹介します。
アフィリエイトをする上で必ずお世話になります。」

2 番のほうが一瞬と決まっている
印象を受けませんか？

最初に短文で始めることで、
文章が引き締まります。

書き出しに限らず、
文中でも短文を使っていきましょう。

と言っておきながら、
私もなかなかできておりません…。

これから気をつけます(汗)

★文章の書き出しは短文で始めましょう。

2-8. 箇条書きの基本

複数のものを挙げるときは、箇条書きを使います。

箇条書きは、文章の伝わりやすさを飛躍的に上げます。

例えば、以下の 2 つの文では
どちらが分かりやすいでしょうか。

1. ASP で代表的なところは、アマゾン、楽天、リンクシェア、A8.net
です。
2. ASP で代表的なところを以下に挙げます。
 - ・ アマゾン
 - ・ 楽天
 - ・ リンクシェア
 - ・ A8.net

2 番の箇条書きのほうが分かりやすいですね。

他にこんな使い方もあります。

成果報酬型広告で扱う広告は以下の 2 種類です。

1. 物販
2. 情報商材

「〇種類」と言って、その後に番号で挙げる方法です。

ここまでも何度か箇条書きを使っていました。
気付きました？

★複数のものを挙げるときは、箇条書きを使いましょう。

2-9. 見出しの基本

↑ **見出しは必須です。**

「見出し」とは、このページの最初にある一文のことです。

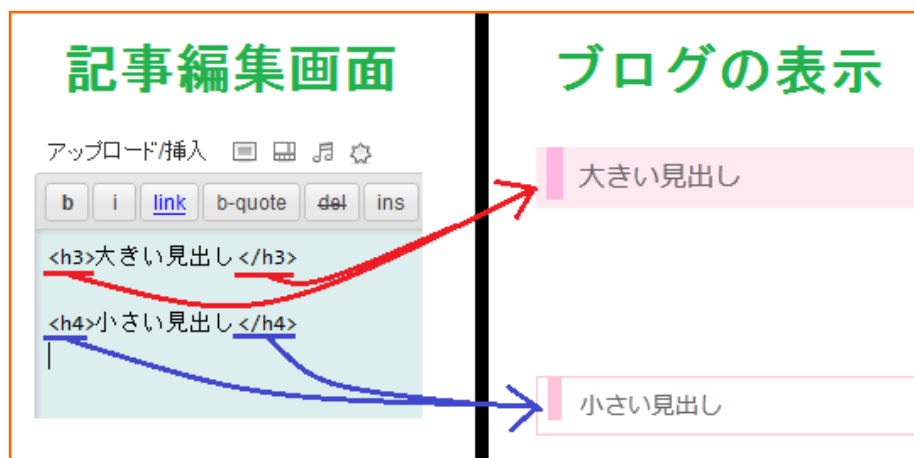
最初に「見出しの基本」という見出しがあると、
読者は「お、ここには見出しのことが書かれているのか」と
心の準備ができた状態で読み始められます。

また、見出しを途中で使っても効果があります。

このページの見出しも、
「基本編」の長い文章の途中にある見出しですね。

記事を書くときは、<h3>タグや<h4>タグを使い
見出しを表示して、話の切れ目を読者に伝えましょう。

※<h3>タグ、<h4>タグ：
HTML のタグです。記事を書くときに
このタグで文字を挟むと、見出しになります。



見出しがあると文章にメリハリがついて
読みやすくなります。

ちなみに、私は見出しと箇条書きをよく一緒に使います。

成果報酬型広告で扱う広告は以下の 2 種類です。

1. 物販
2. 情報商材 ←箇条書き

1. 物販 ←見出し

「物販」とは～

この組み合わせの効果は絶大です。

読者にとって、これから説明されるものが
箇条書きで並んでいるため、
続く説明が頭に入りやすくなります。

★見出しを使いましょう。

2-10. 例え話の基本

難しい話をするときは、**具体例を出します。**

**具体的な例を出されたり、例え話をされたりすれば、
読者は理解しやすくなります。**

ここまでも毎回のよう
「例えば」と言って、例を挙げていました。

1 ページ前の「見出しと箇条書きを一緒に使う」例もそうですね。

私がただ「見出しと箇条書きを一緒に使うといいですよ」と
書いただけでは、あなたは「えっ、どう使えば…？」と
あやふやな想像しかできません。

そこに具体的な使用例があれば
「そう使うのか！」と分かりますよね。

ただし、簡単に理解できることなら
具体例や例え話は不要です。

「ケーキは甘いぞ。ワシが孫に接するときの態度くらいにな！」
なんて言われても、後半は不要な情報ですよ。

「2-5. 文字数の基本 (P. 20)」にあるとおり
文字数を減らすため、
なるべく不要な情報は削りましょう。

★難しい話をするときは、具体例を出しましょう。

2-11. 専門用語(カタカナ語)の基本

専門用語やカタカナ語をできるだけ控えます。

近年、カタカナ語が急速に増えてきましたね。

アジェンダ、モチベーション、レジュメ、スキル、コンテンツ、コミットメント、グローバル、シナジー、ベンチャー…。

こういったカタカナ語を「カッコイイから」や「詳しく見えるから」という理由で使っていると、**読者には何も伝わりません。**

ただ、「全く使うな」と言っているわけではありません。

**一般的ではないカタカナ語や
専門用語を控えることが肝心です。**

「ASP」や「レンタルサーバー」などはどうしても書く必要があるので、そのときは説明文を添えると親切ですね。

ワードプレスを使う場合、レンタルサーバーが必要です。
※レンタルサーバーとは～

ちなみに、私はカタカナ語…嫌いです。

(「モチベーション」なんて「やる気」でいいと思うのですが…。ここは日本だ！)

★専門用語やカタカナ語をできるだけ控えましょう。

2-12. これそれあれ…どれ？ の基本

「こそあど言葉」（指示代名詞）をできるだけ控えます。

「これ」や「あれ」といった指示代名詞を使うことで、
読者に伝わりにくくなるばかりか、SEO でも損をします。

例えば、こんな文があったとします。

「物販はいいですよ。これなら紹介しやすいです。
情報商材よりこっちのほうが私の趣味に合いますし、～」

上の文から指示代名詞を無くした文がこちらです。

「物販はいいですよ。物販なら紹介しやすいです。
情報商材より物販のほうが私の趣味に合いますし、～」

下の文のほうが SEO の観点から有利です。

「物販」という重要な単語が多く入っているためですね。

また、文章が長くなれば、「これ」や「こっち」に対して
読者は「なんだっけ？」となります。

このように、指示代名詞を使いすぎないことが大切です。

★「こそあど言葉」（指示代名詞）をできるだけ控えましょう。

2-13. 二重否定の基本

二重否定を使ってはいけません。

書いている側は気になりませんが、
読者からすれば引っかけ問題を出されたような印象を受けます。

例えばこんな文。

「使わない理由はないですよね」
「悲しくなかったと言えばそんなことはない」
「これ、美味しくなくなくなあい？」

いかがでしょう。
読んでいて、「どっちやねん！」とツッコミたくなりませんか？
(最後のギャル風は三重否定になっていますね)

上の例文から二重否定を無くせば、とてもスッキリします。

「使うべきだ」
「悲しかった」
「美味しいよね？」

凝った文を書こうとして
二重否定を使ってはいけません。

使うほどに読者はストレスを受けます。

伝えたいことはビシッと言いきりましょう。

★二重否定を使ってはいけません。

2-14. 強調の基本

強調をできるだけ控えます。

やたらと強調すれば
読者はげんなりしてしまいます。

例えば、こんな文です。

「ASP 登録は**必ず**しなくてはいけなく、**必ず**必要です。**必ず**以下から～」

うるさいほどに「必ず」と言っていますね。

強調する場合は、一文のうち 1 箇所だけにしておきましょう。

立て続けに強調を使えば、文全体が強調されてしまい
本当に強調したい部分が強調されません。

★強調をできるだけ控えましょう。

2-15. 「の」の基本

連続する「の」は2回までです。

多くて3回です。

悪い例を書くと、こんな使い方です。

私のブログの読者のコメントの書き方が～

「の」の出血大サービスです。

4回も出てきましたね。

これだけ多く「の」が出てくると、読者の調子が狂います。

上の例を直すとすれば、以下のようになります。

私のブログでは読者のコメントの書き方が～

または

私のブログのコメントの書き方が～

上の文では、途中の「の」を「では」に変えました。

下の文では、途中の「読者の」を取りました。

「の」が続いていると感じたときは、
上のような方法で自然な文章になるように変えましょう。

★連続する「の」は2回まで。

2-16. 「が」の基本

一文に「が」は1つです。

一文に2つ以上、「が」を使っている人はよくいます。
(「は」もそうですね)

読者からすれば主語が2つに見えるので、
なんとなく気持ち悪く感じます。

例えば、こんな文です。

私**が**買ったお茶**が**きれた。

「が」が2回出てきました。
ありふれた文ですね。

上の文でも意味は分かりますが、
正しく直してみましょう。

私**の**買ったお茶がきれた。

これでスッキリしました。

書いている途中で「が」が2回出てきたら、
どちらかの「が」を直しましょう。

★一文に「が」は1つまで。

2-17. 「ので」の基本

一文に「ので」は1つです。

理由を書くために「ので」を連発している人がいます。
これは読んでいる側にとって、しつこく感じます。

例えば、こんな文です。

私は眼鏡男子な**ので**、加えて背が高い**ので**、また指も長い**ので**、
女子にモテるはずだ。

「ので」の3連発ですね。

この文をスッキリさせてみましょう。

私は眼鏡男子で背が高く、指も長い**ので**
女子にモテるはずだ。

または

私は眼鏡男子で背が高い**ので**、また指も長い**ため**、
女子にモテるはずだ。

または

私は女子にモテるはずだ。理由は以下のとおりである。

- ・眼鏡男子
- ・高身長
- ・長い指

「ので」を同じ意味の「ため」にしたり、
箇条書きにしたりと、色々工夫できますね。

★一文に「ので」は1つまで。

2-18. 漢字の基本

漢字を控えます。

日本人ですから誰でも漢字を使いますよね。
しかし、**使いすぎると読みにくくなるのです。**

例えば、こんな言葉。

「先輩達」
「先輩たち」

言っていることは同じですが、
上のほうが硬い印象を受けませんか？

ここで重要な単語は「先輩」なので、
続く漢字を「たち」とひらがなにすることにより
「先輩」を目立たせることができます。

ひらがなを使ったほうが
読みやすいですし、やわらかい感じがしますよね。

ブログで漢字を多く使っているなら、
以下のように**ひらがなを増やすと読んでもらいやすくなりますよ。**

- ・「特に」→「とくに」
- ・「出来る」→「できる」
- ・「頻繁に」→「よく」

★漢字を控えましょう。

2-19. 表現の基本

表現を統一します。

表現を統一することで、読者に伝わりやすくなります。
会社の書類では真っ先に確認する項目ですね。

例えば、こんな文です。

「このレポートは初心者アフィリエイトが対象です。
さて、アフィリエイト初心者さんは～」

「初心者アフィリエイト」と
「アフィリエイト初心者さん」という
2つの表現が出てきました。

言っていることは同じですよ。

同じものなのに表現が違えば、
読者は混乱してしまいます。

Word で文章を書く場合、
「Ctrl」 + 「H」 キーで「置換」を行えます。

「置換(ちかん)」とは、検索して引っかかった単語を
違う単語に変換する機能です。

一括で表現を統一する場合に便利ですよ。

★表現を統一しましょう。

3.日本語編：恥ずかしい日本語から卒業する！

3-1. ねこヨーグルトの恥ずかしい話

自己紹介に書いたとおり、私はライターとして
某メディアで連載しております。

掲載された記事が多くの方に見られるなかで、
「やっちゃった…」という失敗談をひとつ紹介しますね。

ある日、Twitter で「日本語間違っていますよ」と
メッセージをもらいました。

自称「日本語にこだわる男」の私はショックを受けながらも、
急いで指摘された箇所を確認しました。

すると、そこには…

「**的**を得る」

と、大っぴらに出ていたのです。(ガーン！)
コレ、どこが間違いか分かります？

正しくは…「**的**を**射る**」ですね。

ライターなのに…ライターなのに…ライターなのに…。

…と、私のように恥ずかしい思いをしてほしくないので、
この「日本語編」で正しい日本語を覚えましょう(汗)

3-2. 「一番最初」

「一番最初」は日本語として間違いです。

「一番」と「最初」の意味が同じだからです。

正しくは、「最初」または「一番始め」です。

テレビのアナウンサーでさえ使っている
代表的な日本語の間違いですね。

聞くたびに気になって仕方がありません。

似たような間違いに以下のものがあります。

- ・「まだ未完成」: 「まだ」と「未」の重複
- ・「第一話目」: 「第」と「目」の重複
- ・「頭痛が痛い」: 「痛」と「痛い」の重複

私もたまに使ってしまいます。
言った後にハッと気付いて自己嫌悪に…。

周りは気にしていないので
気にすることはないのですが…うーん(汗)

3-3. 「すごい」と「すごく」

「すごいおいしい！」は日本語として間違いです。

正しくは、「すごくおいしい！」です。

「すごい」の正しい使い方としては、
「〇〇ちゃん、すごい！」や「すごい家」など。

「すごく」の正しい使い方としては、
「成績がすごく良い〇〇ちゃん」や「すごく立派な家」などです。

この「すごい」と「すごく」の使い分けも
間違いやすいですね。

強調するために「すごい」を使うことは
間違いではありませんが、
後に続く言葉によって「すごく」を使います。

細かいですが、しっかり使い分けると
美しい文章になりますよ。

3-4. 「～したいと思う」

「これから説明したいと思います」は間違いです。

正しくは、「これから説明します」です。

日本人の謙虚さのせいか、
はたまた丁寧語だと思われているのか分かりませんが、
テレビでもよく聞くようになりました。

「～したいと思う」をなるべく使ってはいけません。

もし使った場合、読者からは
「勝手に思っていれば？」と思われます。

会話やちょっとした感想を書くときは使ってもいいですが、
これから大事な説明を始めるときに
思っているだけではいけません。

「2-13. 二重否定の基本 (P. 30)」で書いたとおり、
伝えたいことはハッキリ言いきましょう。

3-5. 「～のほう」

「特典のほうをお送りします」は
日本語として間違いです。

正しくは、「特典をお送りします」です。

「～のほう」は丁寧語でも何でもありません。
もし、連発していたら要注意です。

「～のほう」の正しい使い方は、以下のとおりです。

- ・ 方向を示す
- ・ どちらかを選ぶ場面で一方を示す

例えば、箇条書きで項目を 2 つ挙げたときに
「前者のほうは～」という使い方です。

しかし、使わなくても文として成り立ちますね。

「～のほう」を連発する人は
「ホウホウ族」と呼ばれます。

私はコンビニ店員から頻繁に聞きます。

「おにぎりのほう温めますか？」
「お箸のほうお入れしますか？」
「お釣りのほうお返しです」

気になって仕方ありません。

3-6. 「～になります」

「こちら、特典になります」は
日本語として間違いです。

正しくは、「こちら、特典です」です。

「～になります」は丁寧語でも何でもありません。
もし、連発していたら要注意です。

「～になります」は、変化を表す言葉です。

例えば、「氷が溶けると水になります」という使い方です。

私はレストラン店員から
「～になります」をよく聞きます。

「こちら、オレンジジュースになります」
「(すでにオレンジジュースだよ!)」

気になって仕方ありません。

加えて、「～でよかったでしょうか」も
よく聞きます。

間違いが溢れていますね。

3-7. 「～させて頂く」

「今度、新しいブログを開設させて頂く」は
日本語として間違いです。

「～させて頂く」の正しい使い時は、以下のとおりです。

- ・許可をもらってからその行動をとるとき
- ・誰かのおかげでその行動をとれるとき

冒頭の「今度、新しいブログを開設させて頂く」の場合、
誰かの許可を得るでもなく勝手に始めることなので、
日本語として誤りです。

また、自己紹介で「東京都〇〇に住まわせて頂いております」という
言い方も間違いです。

家賃を払っているのは両親かもしれませんが、
自己紹介する相手に両親は関係ないので
「～に住んでおります」が正しいです。

どうしても「～させて頂く」を使いたくなったら、
代わりに「～いたします」を使えばしっくりきます。

「～いたします」も立派な敬語です。

過剰な丁寧語は回りくどくなるので
気をつけましょう。

「お釣りのほう、お返しさせて頂きたいと思います」と
言われた日には、もうどうしたものか…。

3-8. 「全然＋肯定文」

「全然大丈夫」は
日本語として間違いです…か？

私はいまだに「全然＋肯定文」の言葉に違和感を覚えます。

本当はキーボードで打ち込みたくないほど
「全然＋肯定文」が嫌いです。
日常でも絶対に使いません。

最近「それ、日本語間違ってるよ」と
指摘する仲間が減ってきて寂しい思いをしています。

ただ、「『全然＋肯定文』は正しい説」があります。

[参考]先生に「全然大丈夫ですよ」と言ったら「日本語おかしいですよ？」
と言われました(Yahoo!知恵袋より)

http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q149829269

「全然＋肯定文」が浸透したせいで、
質問の返事で「全然」と一言だけ返ってきたときに
「どっちの『全然』？」と訊き返すハメになりました。

私としては、「全然＋肯定文」を使うときは
「全然」の代わりに「断然」を使えばいいのに…と
いつも悶々としています。

「全然＋肯定文」を使うかどうかはお任せします。

4. おわりに



お疲れさまです。
日本語がたくさん出てきましたね。

「え、これ間違いだったの!？」なんて驚いていただけたら、
筆を取ったかがあります。

ぜひ、このレポートを何度も読み、
伝わる文章と美しい日本語を習得してください。

「〇〇さんの文章、分かりやすいですね!」なんて
言われた日には、カーヴィーダンスをしたくなりますよ(笑)

そうそう、レポートを読んだだけで満足しないでくださいね。

実践が大切です。

ブログの記事を書きながら、
「あ、二重否定使っちゃった」や
「つい、『~のほう』って書いちゃうなあ…」と
違和感を覚えたら、成長の証です。

昨日の自分を笑える自分になりましょう ^^

もし、このレポートを気に入っていただけましたら、
私のブログへ遊びにいらしてください。

ブログを使ったアフィリエイトで稼ぐ方法を解説しております。

「ブログアフィリエイトで稼ぐ方法について皆が知りたいこと」
<http://nekoyogurt.com/>

また、無料レポートをダウンロードするときに
捨てメールアドレスで登録してしまった場合は、
気が向きましたら以下から登録しなおしてください。
<http://nekoyogurt.com/lp/mailmagazine/>

※途中にちょこちょこ登場した彼女たちについて
詳しく知りたい場合は、以下のサイトをご覧ください。

Web マンガ あふいみ☆えいこ
<http://nekoyogurt.com/comic/>

それでは、またブログとメルマガでお会いしましょう。

著者紹介



名前：ねこヨーグルト

社会人になりたての頃はプログラマーだった理系人間。

うつ病が多いことで有名な IT 業界で、
周りの人間が次々とダウンしていく現場に所属。

夜中 3 時就寝、翌朝 6 時起きという
自分の時間がとれない環境で数年勤め、転職。

転職先は、これまでの理系とは真逆の文系ライター業。
そこでもまた自分の時間が無くなり、数年後に退職。

「この世に定時で帰れる仕事は無いのか…」と
絶望しているときにアフィリエイトに出会う。

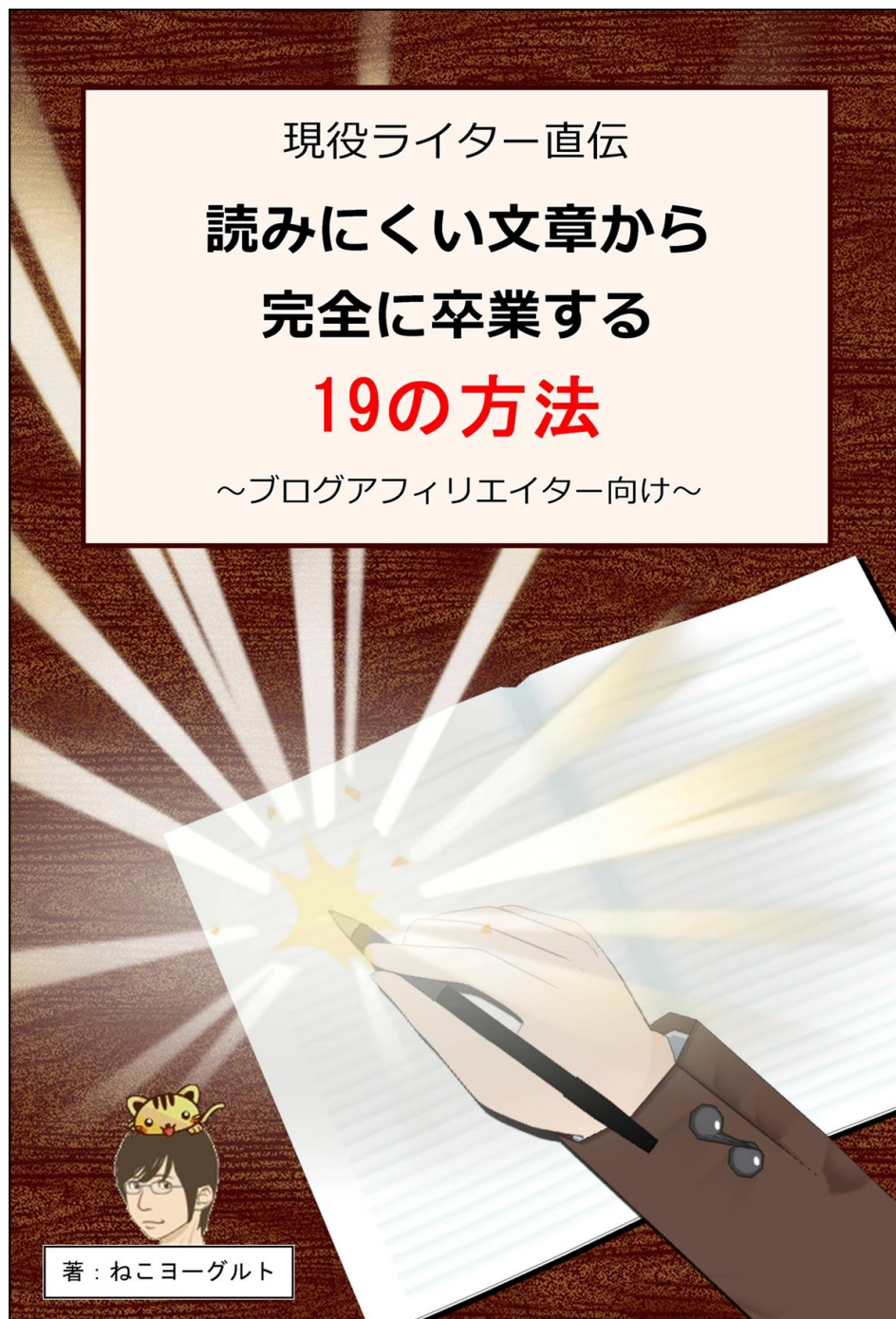
2011 年 4 月からブログを使ったアフィリエイトに取り組み、
2011 年 7 月には月間 135 万 PV を達成。
Yahoo!知恵袋で「有名ブログ」と紹介され、約 13 万円/月の報酬も発生。

現在はライター業で培った文章力を活かし、
ブログを使ったアフィリエイトについて分かりやすく徹底解説中。

これからアフィリエイトを頑張る方を応援中でございます。

[より詳しい自己紹介](#)

【現役ライター直伝 読みにくい文章から完全に卒業する 19 の方法
ブログアフィリエイト向け】



<http://nekoyogurt.com/>

Copyright ねこヨーグルト All Rights Reserved.